

四十周年記念講演会開催

矢野きよ実トークショー

十月二日(金)に今池ガスホールにおいて、愛知県農業土木測量設計技術研究会の四十周年記念講演会を開催しました。

最初に当研究会で作成した「あいちの農業」を紹介するビデオクリップ上映、吉永会長挨拶、東三河農林水産事務所長土方英二様のご祝辞、記念講演、最後に農林水産部農林基盤局長山本信介様のご祝辞をいただき、来場者約三百名を迎え、盛況に終えることができました。講演者には、愛知県で知名度のある方にとの思いから、名古屋出身のラジオパーソナリティーで書道家の矢野きよ実さん

にお願ひしました。

講演は、「生きている 生きてやる 生きたい 君のために」と題して、東日本大震災でのボランティア活動で、「書」を通してふれあった被災地の子供達の今の思いを書いた作品を示し、お話をいただきました。大変につらく悲しい話が多く、改めて大震災の恐ろしさを考えさせられました。講演の最後

に壇上にて「生きて

いる この町であなたと今日もいい日になりますように」と書の

実演をしていただき、作品は来場者の方にプレゼントされました。

また、当研究会の農業農村整備PR活動において、子供達に書いていただいた「十年後(2025年)のぼく・わたし」の短冊を会場に展示しました。



10年後のぼく・わたしの展示



「書」を通しての子供達の思い



トークショーでの一場面

平成二十七年度 農業農村整備PR活動 開催

八月一日(土)

に愛・地球博記念園(モリコロパーク)にて、愛知県・愛知県土地改良事業団体連合会他の主催により、「あいちの農業用水展」が開催されました。

当研究会では、昨年に引き続き、測量機器への触れ合いを通じて、多くの子供達と保護者の方々に測量への理解を深めていただくことを目的に参加型イベントとして「測量実体験コーナー」を開催しました。当日は気温三十度を超える暑い日にもかかわらず、多くの方に体験していただきました。

また、当研究会が四十周年を迎えるにあたり、測量実体験に参加した子供達に、「十年後(2025年)のぼく・わたし」と題した内容で、短冊に将来の夢や希望を約七十名の方に書いていただきました。



測量実体験(なにが見えるかな?)



10年後(2025年)のぼく・わたし



測量実体験コーナー

平成二十七年度 技術研修会Part 1 開催

七月十七日(金)

に技術研修会Part 1に参加者約百三十名で愛知県土地改良会館にて開催しました。

当研究会の吉永会長挨拶に続き、ご来賓の農林水産部農林基盤局農地整備課主幹尾畑厚志様のご挨拶をいただきました。

講演I部は、若手技術者が関与した農業農村整備事業の測量・設計及び調査に係る広範囲からの技術テーマで発表を行い、農業土木技術者としての知識の研修・普及に努めることを目的として、会員会社から五社の若手技術者が講師として講演を行いました。

【演題・講師(敬称略)】

- ①「パイプラインにおける内水圧の考え方と管路設計手法について」
(株)アイエスシイ 佐藤 裕司
- ②「小水力発電施設的设计事例について」
若鈴コンサルタンツ(株) 楠木 悠平
- ③「排水機場の仮設計画について」
協和調査設計株 松原 徹
- ④「国営造成農業用ダムにおける耐震性能照査について」(株)三祐コンサルタンツ 隈元 寿樹
- ⑤「相関法によるパイプライン漏水調査の現状と事例」NTCコンサルタンツ(株) 利根川陽一

講演II部は、「農地中間管理事業について」と題して、農林水産部農林基盤局農地計画課主査 松崎則明様に貴重な講演をいただきました。



技術研修会Part 1